

## 令和5年度 第1回検討会結果概要

### 総合政策局技術政策課

- 国土交通省では、運輸分野における水素・燃料電池等の更なる利活用の拡大、利便性の向上等を目指して、官民が情報を把握・共有し、技術的課題を整理していくとともに、具体的な解決策等を検討するための官民プラットフォームとして、令和5年度第1回「運輸分野における水素・燃料電池等の利活用の拡大を目指した技術検討会」を令和6年2月29日に開催した。
  
- 議事では、事務局や構成員等から、各分野における取り組み等について説明が行われた。
  
- 意見交換では、各分野における取り組み等について、次のような意見が出席者から出された。
  - ・水素社会、水素ビジネスがまさに動き出している。一度に運ぶ水素の量を増大させるなど国内でのサプライチェーン等について検討しているが、そうした取り組みの中で様々な課題が出てくると思うので、関係者で一体となって取り組みを進めていきたい。
  - ・水素の利活用拡大の取り組みを進めているが、どのように水素が供給されるのかということや、需要等が分からないと、どこをターゲットにして取り組みを進めるべきなのか、検討を進めることが難しい。
  - ・本検討会においては水素の利活用拡大を目指して各モビリティの基準等の導入に向けての検討を行っているが、実際に水素の利活用を行った際には、水素の供給に要する時間を短くする必要があるといった課題も出てくると考えられる。自動車では、他のモビリティに比べて、どのようなオペレーションを行うのかといった検討も進んでいる部分があると思うので、情報提供を行っていきたい。
  - ・水素の利活用を行うにあたっては、本格的な利活用はまだ先になると思うが、現場での水素の充填に時間を要することや必要となる大量の水素をどこから調達し、現場までどのように輸送してくるのかなどが、今後、課題になると考えている。
  
- 引き続き、中間とりまとめにおける取り組みのほか、構成員の方々からのご意見等を踏まえ、本検討会において検討を進めていく内容も含め関係者で議論を行うこととし、議事を終えた。